法音

今月のご法話

この国に生まれて

日蓮宗

法音寺

令和２年
11月号
No.613

知恩報恩

感謝と親切

今日一日、
受けた恩に感謝しましょう。
恩を忘れぬ人は信頼されます。
今日一日、
人に親切にしましょう。
人が喜び、自分もうれしい。
仏の教えは
知恩報恩の人となることです。

月刊・法音　令和2年11月号 No.613　目次

【信仰の指針】感恩（かんおん）　世の中は有り難いことであふれています ―― 1
【朝のこない夜はない】
この国に生まれて　山首　鈴木正修 ―― 2
◆講日のご案内 ―― 15
◆有縁の支院・布教所に、ご自由にご参詣ください ―― 16
◆お題目写経ご協力のお願い ―― 18
◆仏教まんが・七五三 ―― 19
◆七五三について ―― 27
◆知っているようで知らなかった!?法音寺のこと⑪ ―― 30
◆お寺の本棚 ―― 34
◆のりのね体験 ―― 36
◆支院だより ―― 41
◆法音寺の本が紹介されました ―― 62
◆福祉のひろば ―― 63
○幸せのお手伝い ―― 64
○昭徳会・ベトナム人介護技能実習生を受け入れて ―― 66
○【特別寄稿】日本福祉大学付属高等学校 ―― 68
新入生、建学の精神を学ぶ
◆賛助員ご芳名 ―― 82
◆幸せの種まき／編集後記 ―― 84
◆連載まんが・ひまわり・94　友達と虫歯 ―― 85
◆法音寺物語
◆法音寺の社会福祉・教育事業

表紙題字・信仰の指針　山首上人さま 書　表紙写真・コスモス
掲載写真　表紙・信仰の指針・3～15頁：梅田雅臣氏撮影
2頁：加納将人氏撮影

信仰の指針

感恩（かんおん）

世の中は有り難いことであふれています

日教座

くずの花

朝のこない夜はない

山首 鈴木正修

この国に生まれて

沖縄県のうるま市に、学校法人角川ドワンゴ学園が設置したN高等学校があります。角川書店とIT企業のドワンゴが協力して作ったインターネットで通信教育を行う高校です。

そのN高等学校に、「政治部」が設立されました。2015年に公職選挙法が改正され、投票できる年齢が20歳から18歳以上に引き下げられましたが、10代の投票率は全体の投票率よりもずっと低いままです。そこでN高等学校では生徒への主権者教育の一環として「政治部」をつくったのです。

第一回のゲスト講師が麻生太郎副総理でした。講演の冒頭で麻生副総理は「マスコミはよく日本の若者は政治に関

心がないと批判するが、若者が政治に関心がないことは悪いことではない。それだけ日本で平和に暮らしているということだ。アフガニスタンなど戦闘が続く地域は生活をするために政治に関心を持たざるを得ない。政治に関心がなくても平和に生きられる国にいる方がよっぽど良い」と発言されました。たしかに、昨今の香港の若者達による反政府デモを見ていると、日本が平和な国であることを実感します。

中国の古典『十八史略』の中に『鼓腹撃壌』（腹つづみを打ち、足で地面を踏み鳴らして拍子をとる意）という故事があります。古代中国の伝説上の聖天子・堯帝が治める国は平和で安定していました。その治世は五十年に及びました。ある時、堯帝が「本当に世の中は平和に治まっているのだろうか」と側近に尋ねたところ、側近は「わかりません」と答えました。朝廷の役人や民間の有力者に尋ねて

みても、みな「わかりません」と答えます。そこで、自分の目で確かめるために、お忍びで宮殿の外に出ました。すると、子ども達が歌をうたっているところに出会いました。

「みんなの暮らしが楽なのは、わが堯さまのお陰です。頭を悩ますこともなく、おん導きのおんままに」

これを聞いても堯帝は、まだ安心できなかったのか、なおしばらく行くと、一人の老人に出会いました。そのくだりを『十八史略』の原文を引くと次のようになっています。

「老人あり。哺を含んで鼓腹撃壌して歌って曰く。日出でて作り、日入りて息う。井をうがって飲み、田をたがやして食らう。帝力何か我にあらんや」

ここに『鼓腹撃壌』が出てきます。歌の部分の訳は「お陽さま昇れば野良仕事、お陽さま沈めば休みましょう。井戸を掘っては水を飲み、田を耕しては米つくる。天子さまなんぞ、いてもいなくても関係ない」となります。堯帝は

これを聞いて、〝ああ、天下は泰平なのだ〟と、安心して宮殿に帰っていったというお話です。

この話は現代の日本にそのまま通じるような気がします。

山務員の渡辺堯学上人は法音寺に来るまで中国の北京大学に、留学生ではなく本科生として在学していました。堯学上人は、北京にいる間、中国人学生によく「君は日本に生まれて本当に幸せだな」と言われたそうです。中国では共産党政権の批判をすると、学生の場合はすぐに退学になり、教師の場合は退職になるそうです。

北京大学社会学部元教授の鄭也夫という方がおられます。この方は「中国共産党政権は執政の七十年間に、国民に多大な災いをもたらした。共産党政権は平和に歴史から去るべきだ」と痛烈に政権批判をし、教授職を追われました。しかし、鄭氏はこの程、舌鋒を緩めることなく、中国最高

指導部である中央政治局の7人の常務委員（チャイナ7）に対して、反腐敗の一環として資産を公開するよう求めました。一説によると中国共産党の幹部は想像も及ばない程の莫大な資産を所有していると言われています。

清朝の時代に『清官三代』という言葉がありました。当時、収賄の限りを尽くした悪い官僚を「濁官」と呼んだのに対し、清廉な官僚は「清官」と呼ばれました。しかしその「清官」でも役得や利殖を得ており、知事を一期務めると三代にわたって潤うぐらいの収入があったそうです。共産中国になってもこの伝統は続いているのかもしれません。

銅鑼湾書店という小さな本屋さんが、かつて香港にありました。そこで扱う本は、中国共産党政権批判の本です。これらは中国では「禁書」とされています。書店の店長と株主を含め5名の関係者が相次いで失踪しました。中国当

局に拘束されたのです。その間に銅鑼湾書店にあった4万冊以上の本は全部破棄され、営業ができなくなりました。しかし、八カ月にわたって拘束されていた元店長の林栄基さんは、釈放されてから台湾の台北に行き、本年4月に銅鑼湾書店を再開しました。そこには台湾の蔡英文総統も訪れたそうです。日本では政府を批判しても、このようなことは起りません。〝日本に生まれて良かった〟とつくづく思います。

日蓮聖人のご遺文に池上兄弟にあてられた『兄弟鈔』があります。そこに「三障と申すは煩悩障・業障・報障なり」とあります。

「三障」とは、三種類の困りごとです。「煩悩障」は貪・瞋・痴によって起こり、「業障」は家族によって起こり、「報障」は国主・父母等によって起こる困りごとです。生

まれる国によって、その人の運命は大きく左右されるのです。

アメリカの啓蒙作家でオグ・マンディーノという方がいます。この方の前半生は悲惨なものでした。家族に出ていかれ、アルコール中毒になり、ピストル自殺をする寸前までいきました。しかし、あることに気づいて思いとどまり、作家として大成功をおさめました。そのきっかけは、自分にはすばらしい財産があることに気づいたということでした。「これは本当に自分の血と涙で購った、人生において最高の生きる秘訣だ」と言っています。

「財産」というのは、私達があたりまえに思っている〝目が見えることや手足が動くこと〟です。オグ・マンディーノは言います。

「あなたは一億円で目をくれと言われたら目をあげますか。

五億円で手足をくれと言われたらあげますか。たとえ国家予算と交換だとしてもいやですよね。それぐらいすごい財産をあなたは持っているのです」

しかし、一番に上げている財産は「このすばらしい国に生まれたことだ」と言うのです。オグ・マンディーノはアメリカ、私達でしたら日本です。

小泉純一郎元総理が、初めてサミットに出席する半月前、日下公人という政治評論家に言われました。

「日下さん、ニューカマー（新入り）はデビューの最初が大事です。相手にアッと言われるのが外交の第一歩です。そこで、こういう挨拶はどうでしょうか。

『我々はそれぞれの国の首相・大統領で、その仕事は国民の願いを叶えることです。国民の願いの第一は長命だが、これはサミットの中では日本が一番です。第二は豊かにな

ることですが、これも一人あたりのＧＤＰで見て日本が一番です（※現在は26位です）。第三は貧富の差がなくて平等なことですが、これも日本が一番です。また、第四は安心して今夜も就寝できることですが、それも最高です。犯罪がなく、女性は夜でも街を歩き、病人はすぐに救急車が運んでくれます（※アメリカでは救急車は有料で５万円程かかります）。第五は、衛生的でおいしい食事ですが、これも日本が最高です（※日本はミシュランの星つきの店が本国フランスより多いのです）。第六は、国民が首相、大統領の悪口を思う存分言えることですが、これも日本が一番活発で自由です（※最近ロシアでは反体制指導者の毒殺未遂事件がありました）。七番、八番は省略して、ともあれ、あなた方のニューヨークやロンドンやパリが東京並みになるのは何年後でしょうか。20年後でも無理でしょうね。とすれば、日本が一番の先進国ですね。では私が議長席に

つきましょう。なお、どうすればこうなれるかは今夜、我々だけで余人を交えず一杯やるときにお話ししましょう』」

こう言って、当時の小泉総理は勇気百倍で出発して行かれたというお話です。

この話の大部分はその通りで、特に注目したいのが政権批判を含め何事においても日本が自由だということです。

オグ・マンディーノは、「目や手足のあることの前に、この国に生まれたことが最もすばらしいことだ」と言いました。その次に言ったことが「現在謳歌している自由の値段はいくらですか」です。よく「ありがたいことを見つけましょう」と言いますが、自由のありがたさを感じたことはあるでしょうか。私も含めて日本に住んでいて自由のありがたさを感じている方は少ないのではないかと思います。

以前ＮＨＫの『映像の世紀プレミアム』という番組を見

ました。そこにベトナムのある軍人が出てきました。ヴォー・グエン・ザップ将軍です。ザップ将軍は稀代の軍事戦術家で、第二次世界大戦後も植民地支配を続けようとするフランスに対してベトナム軍を指揮し、これを打ち破り、フランス領インドシナからベトナムを解放しました。また後に、ベトナム人民軍を指導してアメリカ軍と南ベトナム軍との戦いを制し、ベトナムを再統一しました。その名采配から、西側諸国からは「赤いナポレオン」と敬意をもって呼ばれ、ベトナム人民からは「救国の英雄」として深い敬愛と尊敬を一身に集めていました。

その将軍の言葉が私は大変印象に残っています。

「アメリカと戦うために払った代償は甚大なものでした。我々は何百万もの軍人を犠牲にしましたが、独立と自由ほど尊いものはないのです。独立と自由は、それらの犠牲よりも貴重なのです。しかし、そのために命を捧げた英雄達

の血に対する償いは、いまだに果たされてはいません」

私達は日本に生まれたありがたさを再認識し、その喜びを一人ひとりが菩薩行に結びつけていかなければいけないと思います。

良い教えの話を聞きましょう。
全国の法音寺各支院・布教所では
毎月の講日の中で
三徳の教えを聞くことができます。
是非講日にご参詣いただき
教えを心にしみ込ませましょう。

❖今月の山首上人さまご親修日程

福山支院	11月1日(日)	静岡支院	11月8日(日)
四日市支院	11月13日(金)	京都支院	11月21日(土)
岐阜支院	11月23日(月)	明川支院	11月28日(土)

有縁の支院・布教所に、ご自由にご参詣ください

支院・布教所名	今月の講話日など	住所	電話番号
大乗山泰明寺	5日・20日	名古屋市中村区名駅2－37－3	☎〈052〉581－2069
開基堂	10日	江南市寄木町天道18	☎〈0587〉53－5436
東京支院	1日・14日・28日	東京都練馬区谷原2－6－37	☎〈03〉3904－1251
山形布教所	10日	山形市長町2－4－6	☎〈023〉681－0770
静岡支院	2日・8日・12日・22日	磐田市城之崎4－7－3	☎〈0538〉32－6625
豊川支院	4日・20日	豊川市中野川町1－26－3	☎〈0533〉86－4704
安城支院	8日・18日・28日	安城市新田町小山31－25	☎〈0566〉76－2504
明川支院	11日・28日	豊田市明川町堂ノ脇1－2	ご連絡は本山寺務局へ
佐屋支院	4日・8日・24日	愛西市大井町浦田面296	☎〈0567〉32－1825
一宮支院	5日・14日・25日	一宮市大江1－7－4	☎〈0586〉72－7208
西春支院	2日・12日・22日	北名古屋市九之坪東ノ川20	☎〈0568〉22－5813
岐阜支院	4日・14日・18日・23日	岐阜市切通7－15－22	☎〈058〉245－2939
笠松布教所	12日	岐阜県羽島郡笠松町八幡町23	☎〈0058〉388－2740
大垣支院	1日・11日・21日	大垣市宝和町5	☎〈0584〉78－4854
関支院	3日・14日・23日	関市西福野町2－15－11	☎〈0575〉22－0776
平賀支院	5日・14日・25日	関市市平賀213－2	☎〈0575〉23－3771
郡上八幡支院	8日・22日	郡上市八幡町小野721－3	☎〈0575〉65－3933
四日市支院	2日・13日・22日	四日市市赤堀2－4－7	☎〈059〉352－3633
上野支院	1日・11日・21日	伊賀市上野向島町3475	☎〈0595〉21－0127

京都支院	1日・9日・21日	京都市上京区北横町360	☎(075)231-3437
高槻支院	1日・21日	高槻市天神町1-9-2	☎(072)685-1003
大阪支院	8日・23日	大阪市此花区西九条3-4-41	☎(06)6465-5051
福井布教所	14日	あわら市春宮3-28-2	☎(0776)73-5234
和泉支院	1日・22日	大阪府泉南郡田尻町嘉祥寺404	☎(0724)66-3112
神戸支院	14日・21日	神戸市兵庫区五宮19-17	☎(078)360-4884
淡路支院	5日・25日	南あわじ市神代国衙910	☎(0799)42-0175
岡山支院	1日・7日・23日	岡山市南区若葉町1-16	☎(086)262-0818
高知布教所	12日	高知市上町5-5-39	☎(088)823-1983
福山支院	1日・15日	福山市西町3-19-5	☎(084)921-3078
三原支院	14日・22日	三原市皆実2-9-22	☎(0848)62-5087
安芸津支院	7日・15日・22日	東広島市安芸津町三津3765-3	☎(0846)45-4012
坂支院	14日	広島県安芸郡坂町坂東2-24-12	☎(082)885-1064
福岡支院	1日・15日	福岡市早良区城西2-11-37	☎(092)821-7975
壱岐布教所	13日・23日	壱岐市石田町池田東触1112	☎(0920)44-5445
筑後布教所	8日・22日	筑後市大字西牟田5954-1	☎(0942)53-7273
天草布教所	2日	上天草市大矢野町維和1502-1	☎(0964)58-0742
田川支院	8日・22日	田川市春日町7-30	☎(0947)42-1819
名古屋地区	7日・15日・17日・27日	名古屋市昭和区駒方町3-3	☎(052)831-7135
瀬戸布教所	9日・19日・29日	瀬戸市東本町2-20	☎(0561)85-6860
亀岡布教所	9日・22日	亀岡市篠町篠牧田73-1	☎(0771)25-7807

※スケジュールは変更されることがあります。詳しくは各支院・布教所にお問い合わせください。(掲載順不同)

法音寺・除災の祈り
お題目写経ご協力のお願い

一人ひとりが心を込めてお題目を書写し
真心を結集して新型コロナウイルスを成仏させましょう

「世の中は新型コロナウイルスにより国難と言っても過言ではない状況となっております。
この国難打開の道は、僧俗一体となっての行住坐臥の唱題と、妙法三徳の実践のほかありません。
檀信徒の皆さんにお願いがございます。
私達一人ひとりがより一層の功徳を累ね、その功徳力によってウイルスを成仏せしめ、
一日も早くこの窮状から脱却できるよう諸天善神にご祈念申し上げたいのです。
今こそ法華経・法音寺三徳が真価を発揮する時です。どうか宜しくお願いいたします」
（山首上人さまのお手紙より）

お題目写経 参加方法

1 写経用紙（B5判）は、支院・布教所でお求めください。
1枚につき100円のご供養をお願いします。

2 心を込めて書写しましょう。家族・親戚・友人・知人・縁ある方にもお勧めください。（代筆可）

3 書写したお題目を各支院・布教所にご提出ください。

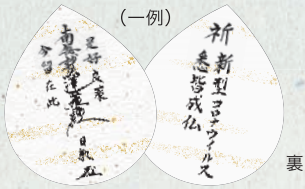
期日までに提出をお願いいたします。

提出期限
2020年12月10日

山首上人さまが皆さまのお題目と共にご祈念されます。

お題目写経にご協力いただいた方には、
除災難散華（限定デザイン）を
お贈りいたします。

（一例）



※お問い合わせは各支院・布教所まで

Juntakenaka

今日は家族4人で妻の実家を訪れた
おじいちゃん おばあちゃん こんにちは〜
おー よく来たね アキラはいくつになったっけ？
5歳だよ
あたしは みっつ
孫も5歳と3歳か…
ちょうど七五三の歳よね
道彦さんはそういうの嫌いなのよ
そのことでケンカしたばかりなの
ケンカじゃないよ ただ七五三をやってもしかたないって いっただけだろ？
え？ やらないの？
着飾って記念写真とるだけだろ？ お祭りじゃないか
私もやってもらったわ 子どものことが大切だからするのよ

道彦くん それは ちがうと 思うな
ガタッ
え? なに…
うう…
アキラ どうした!?
うぐう…
大丈夫か! しっかりしろ
救急車だ 早く!
あかりはワシらが 見ておるから ふたりはいっしょに 病院に行きなさい
ピーポー ピーポー ピーポー
5歳男児 救急搬送
ICU
ICU
ここで お待ちください

どういうこと…
さっきまで
元気だったのに…
ウウッ

大丈夫だ
心配ないよ
先生が助けて
くださるよ

ああ
オレがかわって
やりたいよ

ピッ
ピッ
ピッ

心拍数
下がってます

ピッ
ピッ
ピッ

じゃ　指示通り
処置してくれ
急げ

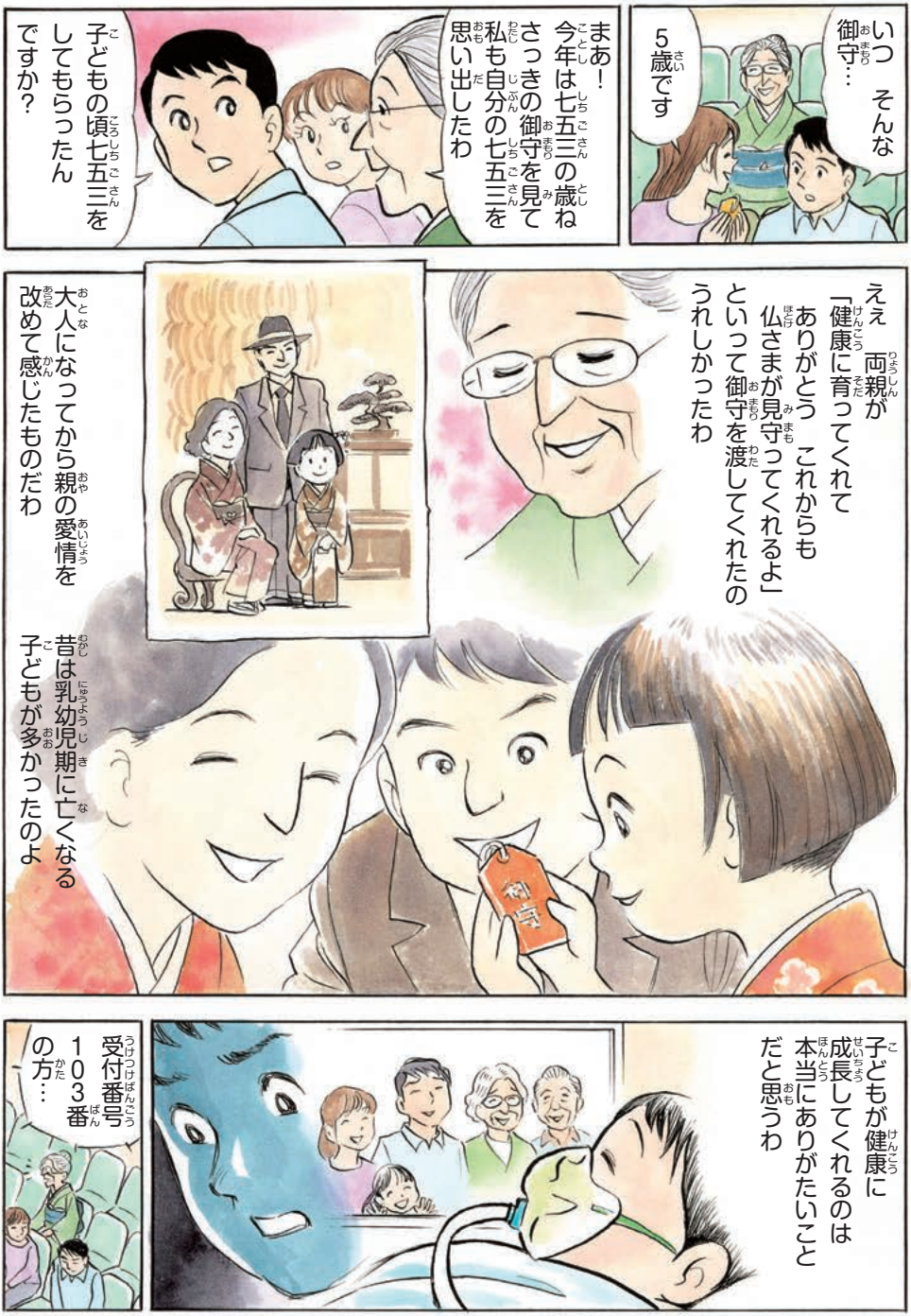
頑張れ
アキラ

あなた…
もう2時間
にもなるわ
心配だわ

ピッ
ピッ
心拍数正常にもどりました
82
ピッ
ピッ
よ～し
ICU
ICU
ガチャ
先生！どうです？息子は!?
危険な状態は脱しましたもう安心ですよ
あの子は私の命より大切ですよろしくお願いします
私達が息子さんを全力で治療します
助かるんですねアキラは助かるんですね
ありがとうございます

翌朝　やっと
アキラの笑顔を
見ることが
できた

半月後


いつ　そんな御守…
5歳です
まあ！今年は七五三の歳ねさっきの御守を見て私も自分の七五三を思い出したわ
子どもの頃七五三をしてもらったんですか？
ええ　両親が「健康に育ってくれてありがとう　これからも仏さまが見守ってくれるよ」といって御守を渡してくれたのうれしかったわ
大人になってから親の愛情を改めて感じたものだわ
昔は乳幼児期に亡くなる子どもが多かったのよ
子どもが健康に成長してくれるのは本当にありがたいことだと思うわ
受付番号103番の方…

お大事にね
私はこれで…
診受付
会計
子どもを思う
親心はいつの時代も
変わらないのね
これまで元気に
育ってくれたことに
感謝します
これからも子ども達の
ご守護をお願いします
そんなに走ったら
ケガするわよ
みんなで
写真とろう

七五三について

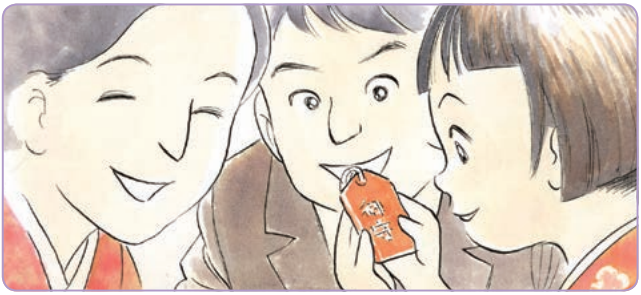
七五三の由来は？

昔は、今とは違い医療が進んでいなかったために乳幼児の死亡率も高く、子どもを七五三の年齢まで無事に育てることは並大抵なことではありませんでした。

七五三は、子どもが無事に育つことができたことを皆で祝い、これまで見守ってくださった神さまや仏さま、ご先祖さまにお参りして感謝の気持ちを表し、これからの健やかなる成長をお祈りする行事です。

なぜ11月15日なの？

諸説ありますが、旧暦の15日はかつて、鬼宿日（鬼が出歩かない日）に当たり、何事をするにも吉とされました。また、旧暦の11月は収穫を終えてその実りを神さまに感謝する月であり、その月の満月の日である15日に、神さまへの収穫の感謝を



兼ねて子どもの成長を感謝し、加護を祈るようになったといわれています。

3歳・5歳・7歳で祝う理由は？

・3歳　髪置き（かみおき）

髪置きとは、子どもが髪を伸ばし始める3歳の節目に行う儀式で、頭に糸で作った綿白髪（わたしらが）を載せて長寿を祈願します。

かつて赤ん坊は男女の区別なく、髪を剃って坊主にする風習があり、髪を伸ばし始めることはここまで無事に成長ができたという印でした。頭に綿白髪を載せるのは、髪が白くなるまで長生きして欲しいという願いが込められています。

・5歳　袴着（はかまぎ）

袴着は着袴（ちゃっこ）とも言い、子どもが初めて袴をつける時に行う儀式で、碁盤の上で吉方を向いて行います。

平安時代には公家だけの風習で、男女の区別なく行われていましたが、時代とともに武家や庶民にも広まっていき、江戸時代頃には男児のみの儀式になり、年齢も5歳に定着しました。

・7歳　帯解き（おびとき）

帯解きは、紐つきの子どもの着物から卒業し、本裁ちの着物に帯を締めるようになる節目に行われた儀式です。

本裁ちは、仕立て直せば大人の着物として着ることができる着物で、本裁ちを着て帯を締めることは、子どもが大きく成長した証として喜ばしいことでした。

室町時代には、男女の区別なく9歳頃に行われていましたが、江戸時代頃に7歳の女児が行う儀式になりました。

千歳飴の由来

「千歳」は、「千年」つまり「長生き」という意味があります。七五三では、親が子の長寿を願って「千歳飴（ちとせあめ）」を食べさせて祝います。

千歳飴のデザインは、一般に直径は15㎜程度、長さは1m以内と決められており、細く長く作られ、また縁起が良いとされる紅白それぞれの色で着色されています。千歳飴の袋には、鶴亀や松竹梅などの縁起の良い絵が描かれています。

知っているようで知らなかった!?

法音寺のこと⑪

組織的な救済事業へ

たつ（杉山辰子先生）が率いた仏教感化救済会は、今でこそ珍しくなくなったボランティア活動をさまざまな方面で絶え間なく続けてきました。生活困窮者への米・もちの配布、被災地への救援、病人の救済、不良青年の薫育に加え、名古屋市郊外・千種に新しく建てた本部の別棟に、両親のいない子ども達や軽度ハンセン病患者を受け入れ、その世話を始めました。

救済会本部の餅つき・右から３人目、杉山辰子先生

昭和初期の社会事業は四種に分かれていました。

（1）児童保護（託児所、孤児の保育、感化教育、障がい児保育）

（2）救護（行路病者・精神障がい者などの収容・保護）

（3）保健救療（無料診療、助産事業）

（4）経済的保護（職業紹介、宿泊施設、公衆食堂、浴場など）

このような定義づけなどを知らないまま、たつ達は**「困っている人は誰でもいらっしゃい」**と、個人的な規模で、孤児の保育、感化救済、行路病者・精神障がい者・ハンセン病患者らの世話を手がけていました。しかし、たつは考えていました。

深川水難施米

水難施米を行った本所東川小学校

臥竜山

〝もっと組織的に、しっかりした設備を整えて人々を救済したい〟

当時の名古屋には、救済団体はいくつかありましたが、特別な施設を有している団体は一つもありませんでした。

救済会が所有する知多半島の土地（臥竜山）は農作業に適し、そこで収穫された米は生活困窮者に配られていました。そこには木造の家が二棟建っており、たつは病人が長期療養するのには最適な場所と考えました。

さらに、杉山家の所有地だった猪高村藤森（現・名東区）は、当時うっそうと雑木林が広がり、人影もめったにない場

所でした。池の脇の小道をたどると、こぢんまりした木造家屋と、別棟に信者達の手作りの修練道場があり、宿泊もできるようになっていました。

〝この地に児童施設を作ろう。親に捨てられ、また大人に虐待された子ども達も、静かな自然に囲まれた所にいれば、心に受けた傷もきっと癒やされていくにちがいない〟

〝また、千種にある救済会本部と藤森を結ぶ中間地点の土地を買って、不治の病に苦しむ人達のための病院を建てましょう〟

その救済事業の構想を聞かされた修一郎（後の御開山上人）は、胸が高鳴りました。そして、たつの想いは修一郎に確実に引き継がれていくのでした。

参考文献

御開山上人伝
『泰山』第二話

お寺の本棚

『御開山上人御遺稿集』

法華経を信仰する者は最後の勝利者である

仏さまの教えを信仰するというのは、仏さまの教えを信じ行って、心を明るくし、家庭を平和にし、生きがいのある生活をするためであります。

妙法蓮華経は、仏さまの心であり、仏さまの力であります。この仏さまの心を我が心とし、仏さまの力を我が身に得たならば、我が身が仏です。即身成仏とはこのことです。

妙法蓮華経は、仏さまの万行・万徳の智慧と力の集まりです。万行とは日常生活のすべての行いです。すべての行いを仏さまの心と力で行えば、皆「徳」となります。これを万徳と申します。

また、六度具足とも申します。即ち、布施・持戒・忍辱・精進・禅定・仏智の六つの行いを完全に行うことであります。この行いによって父母に孝行すれば、父母が喜び、自分も喜びです。このよい行いをほめ、その働きを労ることは子の喜びであり、親の喜びです。夫を労る妻は、夫が喜び、妻も喜びです。妻を労る夫は、妻が喜び、夫も喜びです。かように喜び合う行いが、持戒（よい行

い）です。喜ばせ、労ることは布施（ほどこし）です。かくして自分の心は明るくなり、一家は平和となります。この家庭の平和を村に町に及ぼせば、村も町も平和になります。

心が平和で、喜びに満たされるようになれば、この人には、災難も病気もなくなります。病気の人も早く治ります。財物も必ず豊かとなります。精神的にも物質的にも平和の人となれます。この教えを他人に伝えて他人をも幸福にすることが大きな功徳です。常に南無妙法蓮華経、南無妙法蓮華経と唱えましょう。お題目を唱えることは、仏さまの教えを信仰する者の修行です。必ず自分の生まれながらに持っている仏さまと同じ性質（仏性）、慈しむ心が伸びて来ます。また、妙法蓮華経の題目を聞いた人々も、その持っている仏性が伸ばされて、よい行いができるようになります。知らぬ間に亡き父母・先祖の霊までも喜びの世界に至らしめることができます。

世界の平和は仏教の信仰より始まります。心の平和、国の平和のために、真剣に仏さまの教えを学び、実行しましょう。お題目を唱えましょう。そして我等の力で真の平和を築き上げましょう。法華経の信仰者は、真の平和愛好者であります。法華経の信者は、最後の勝利者であります。

この本をもっと詳しく読んでみたい方は、法音寺本山、または各支院・布教所までお問い合わせください。

法音寺の本が紹介されました

中外日報
2020年（令和2年）9月9日掲載

日蓮宗

法音寺の礎振り返る一冊

名古屋市・法音寺の基礎となる仏教感化救済会の創設者・杉山辰子の功績を振り返る『仏教感化救済会・杉山辰子とその時代』が発刊された。

杉山は1868年、岐阜県に生まれた。断食や水行の修行を通して自らに備わった神通力を確信。1909年に仏教感化救済会を設立し、医学と法華信仰の両面から児童養育、ハンセン病患者救済、災害被災者の支援などに取り組んだ。32年の死去後も遺志は継承され、昭徳会や法音寺で活動が続いている。

同書には新聞や雑誌に発表した記事や論文を再録。杉山の活動についてはランジャナ・ムコパディヤーヤ氏「法音寺と昭徳会―社会参加仏教の一例として」等で詳しく記され、同寺が発刊した書籍の書評も多数収める。

巻頭には大正期の新聞記事を掲載。名古屋新聞21年6月5日「女日蓮、妙法華経に生きんとする辰子」、関東大震災後の読売新聞24年1月2日「多くの人命を預かる鉄道従業員に餅を贈る仏教感化救済会」など、現在では入手しにくい当時の紙面で杉山の活動を知ることができる。

仏教タイムス
2020年（令和2年）10月8日掲載

仏教タイムス社

仏教感化救済会・杉山辰子とその時代

仏教タイムス社編集部 編

宮沢賢治は「雨ニモマケズ」で「東ニ病気ノコドモアレバ行ッテ看病シテヤリ／西ニツカレタ母アレバ行ッテソノ稲ノ束ヲ負ヒ」と困窮する人の元に「行ッテ」寄り添うよう呼びかけた。この有名な詩は、昭和に入ってから創作されたが、それ以前から法華経を基軸としてハンセン病患者や関東大震災被災者の元に「行ッテ」救援活動を展開した人物がいる。"女日蓮"と称された杉山辰子（1868～1932）である。

辰子が設立した仏教感化救済会の思想や実践は今日、名古屋の大乗山法音寺をはじめ社会福祉法人昭徳会、日本福祉大学に継承されている。本書は、救済会から法音寺にいたる近代仏教福祉の歩みについて、宗教研究者や福祉研究者らが各種媒体に寄稿した論文や書評などで構成。福祉学の宇治谷義雄氏は、辰子を日本におけるボランティア活動の先駆者と位置づけ、ランジャナ・ムコパディヤーヤ氏は社会参加仏教の一つとして法音寺を分析。福祉に目が行きがちだが、法音寺福祉の基礎には仏教が息づいている。（A5判・134頁・価1000円+税）

こちらの本が紹介されました

『仏教感化救済会・杉山辰子とその時代』
付　日蓮宗大乗山法音寺　その教線と事業
発行・仏教タイムス社

福祉のひろば

SINCE 1912
SHOTOKUKAI

NIHON FUKUSHI UNIVERSITY ALUMNI ASSOCIATION

幸せのお手伝い

～お子さんに対する気持ちを学ばせていただいた～

子を想う親の気持ち

私は、小原寮で10年勤務しています。その間、たくさんの利用者さんと出会いました。

Nさんは、発達障がい者専門療育棟に入所されています。重い自閉症・知的障がいの方で、言葉はありませんが、時折、見せてくれる笑顔が、皆を幸せな気持ちにさせてくれます。

小原寮は、岐阜県と接する愛知県豊田市北部にありますが、ご両親は、名古屋市西部のご自宅から車で毎週金曜日にNさんを迎えに来て、ご自宅で2泊後、日曜日に送ってこられる生活を、長年欠かさず続けられています。お母さまは裁縫がお上手で、小原寮のNさんの自室にあるソファーのカバーとシートはご自身のお手製です。また、Nさんはたくさんの衣類をお持ちです。その1枚1枚には、心のこもった手縫いの文字で、○○○と名前がつづられています。帰省の日、お母さまが迎えに来ると、Nさんは早く家に帰りたいのか、走って車まで行きます。

そんな、ご両親の愛情をいっぱい受けたNさんですが、お母さまが最近、「Nが帰省することを

望んでいない、という態度が見受けられるようになりました。Nは小原寮が自分の生活をする場所だと思ったのだと感じます。親離れができてきたのではないでしょうか」と言われていたそうです。このお話を聞き、胸が少し熱くなりました。小原寮がNさんにとって、少なくとも安心できる、居心地の良い場所であると認識されている、ご両親のいる自宅も良いけど、小原寮も良いんじゃないか、と思ってもらっているのではないか、翻って私達職員は、現状に満足せず、今以上の安心感、心地良さをNさんに持ってもらえるように努めていかなければならないと思いました。

またIさんのお母さまは、電話で帰省の連絡を入れる際、必ず第一声は、「〇〇君、元気にしてますか」と言われます。

Gさんのお母さまは、職員とGさんが面会でご自宅に会いに行った際は、必ず心のこもった食事を作ってくださいました。

子どもを想う親の気持ち、愛する気持ち、成長を願う気持ちを学ばせていただいた、10年でもありました。

障がい者支援施設　小原寮　生活支援員　岩永　弘道

ベトナム人介護技能実習生を受け入れて

写真提供・昭徳会

特別養護老人ホーム　高浜安立荘

～笑顔は世界共通の最高のコミュニケーション～

高浜安立荘では、令和元年7月からベトナム人の介護技能実習生を4人受け入れています。

受け入れにあたり、居住空間の準備をはじめ、制度の確認や体制の整備、必要とされる書類等々現場のグループリーダーとともに計画を立てて進めてきました。

実習開始当初は、実習生が日本の文化に馴染めるか、実習に取り組む上でご利用者や施設職員と言葉が通じずに不安に思うことはないだろうか等々、常にさまざまなことを想定していました。

しかし、ある程度の日本語が話せる状態で実習に来ているため、全く話が通じなくて困ることはありませんでした。もちろん、時にはお互いに相手の言いたいことがわからなくて困ることもあります。そんな時には、お互いに相手がわかる言葉を一言ずつ伝え合い、相手に理解できるかを確認しながら何とか伝え合ったり、実習生同士で伝え合ったりするなどして職員との言葉のやり取りができています。

実習生が伝えたい内容が職員に伝わらない時には、

一言ひとことのやり取りを繰り返し、実習生も職員も〝何とかわかり合いたい〟という気持ちで相手の言葉や身振りを真剣に聞いたり見たりする姿はまるで、ジェスチャーゲームのようです。お互いにわかり合えていないのに、笑顔で「え？もう一回！」と言いながら、理解し合えるまでのひと時を、お互いに楽しんでいます。

実習生達は、ご利用者へのケアの際にも優しい笑顔で声掛けをしています。ご利用者もつられて笑顔になる方が沢山いらっしゃいます。また、少し恥ずかしそうにしながらもゆっくりと短い言葉で声を掛けているため、ご利用者は理解しやすいようです。

また、実習生達はみんな優しく素直です。同じフロアーにいるご利用者からの声掛けに対しても、すぐに本人の傍に行っては話に耳を傾け、わからなければ職員に知らせてくれます。そして、そのご利用者が落ち着かれると、必ず「ありがとうございます」と笑顔で職員に言葉を掛けてくれます。そんな姿がコミュニケーションの原点であることを気づかされます。

来日して一年が経過した本年8月からは2人の実習生に夜勤業務の実習が始まりました。夜勤終了時の朝礼では、17名程の職員の前で夜間の状況を伝えます。緊張の中、慣れない日本語を一生懸命伝えようとする姿には、その一言ひとことに思わず頷いて聞いてしまいます。

現在、実習生達は12月に行われる日本語能力試験に向けて頑張って勉強をしています。施設でも仕事の後に音読の練習やアプリを使った勉強をし、合格めざして頑張っています。当初から予定している三年の実習期間も一年が過ぎました。実習生全員が、それぞれの目標を叶えられるよう、職員全員でサポートしていきたいと思います。

特別養護老人ホーム　高浜安立荘　業務課長　山下　明美

特別寄稿

新入生、建学の精神を学ぶ

――日本福祉大学付属高等学校

今年も日本福祉大学学園長・鈴木正修先生から、新入生全員に『日本の福祉を築いたお坊さん』を戴きました。今年度は幕開けと同時に、「学校休業」という、生徒にとっても、教師にとっても経験したことのない事態となる中、生徒達は家庭学習としてこの本を読み、感想をまとめる作業に取り組みました。

六月に学校は再開。待ちに待った高校生としての生活が始まり、こうして直接、正修先生のお話を聞くことができました。先生のお話に先立って「ハンセン病の歴史」も生徒達は勉強しました。「新型コロナウイルス感染」という新たな人類の課題に取り組む中で始まった彼らの新生活。「建学の精神」が彼らの生活を支え、豊かなものとすることにつながることを願っています。

ここでは、学園長・鈴木正修先生の講義の感想と『日本の福祉を築いたお坊さん』の読後の感想を紹介いたします。

日本福祉大学付属高等学校　教頭　山口喜久枝

学園長・鈴木正修先生の講義（2020年9月18日）の感想

誰かに喜んでもらえる人になりたい

杉田　彩夏

お話を聞き、一番驚いたのは、修学先生が付属高校で倒れられ、意識がもどらないまま亡くなられてしまったということです。正修先生が「本望だったと思います」とおっしゃっていましたが、私もそんな気がしました。修学先生は若い頃からいろいろなことをやっていて、人類のために、人一倍頑張る人でした。「幸せとは何か」「なんのために生きているのか」と考える修学先生に、杉山先生は「あなたにはあなたでなければできない大きな役割がある」とおっしゃいました。そのことは、私にとって、とても印象深いものでした。困っている人を助ける、人の喜ぶことをするのは、簡単にできることではありません。自分の人生を他者に仕えるために使った修学先生は本当に優れた人であったのだと思います。私もまずは「人をほめる」ことから行動を始め、誰かに喜んでもらえる人間になりたいと思います。

差別や偏見を乗り越える

村瀬　愛

正修先生のお話を聞き、修学先生のように人のために行動できる人になりたいと思いました。「人の悲しみを自分のことのように考える」「誠心誠意、人に尽くす」この正修先生の言葉が強く印象に残っています。現在でも差別されて苦しんでいる人がいます。差別や偏見の意識を持つのではなく、正しい情報でもって人々を理解し、寄り添っていくべきだと考えました。そのためにも正しい情報を得、学び、知識として取り入

れていくことが大切だと思います。多くの人の意見に耳を傾け、正しい判断をすることが私達にとって必要なことだと思いました。

多くの人と幸せを分け合う

伊奈　穂乃佳

第一に修学先生はこの学園を愛してくださっていたのだなぁと感じました。偉大な先生に愛されている学園に入学することができて、とてもよかったと思っています。「何をしても楽しくない」「生き甲斐がわからない」そう思うことは私にも多々あるので、修学先生の生き方をぜひ参考にしたいと思います。自分だけがこの幸せを感じていてはダメと考える先生は、とても思いやりのある方です。また、「ほめて、ほめて、ほめまくる」そのこともすばらしいと思います。先生の心の広さにも学びたいと思います。

修学先生の信念を胸に刻む

本村　菜摘

なにより修学先生の偉大さを感じました。修学先生自身も生きることに精いっぱいだったのに、命をかけ、ハンセン病の患者を助けました。「しあわせ」を一人ひとりにしっかりと与えようとされていました。正修先生の「修学先生の信念があって、今がある」という言葉が印象に残っています。その思いを未来につないでいくのが、付属高校の生徒である私達の役目だと思いました。「ふつうのくらしのしあわせ」を胸に修学先生がここまでつないできたことを、私達がしっかりと受け継ぎ、次の世代へとつないでいきたいと思います。まずは、修学先生のことをもっとしっかりと学びたいと思います。

新しい考え方が世界を変える

小倉　瑚子

人を助けるために自分達も貧しくなってしまったり、

親のいない子どもを三百五十人も育てたりしたという修学先生の取り組みを聞き、大変驚きました。戦後の食糧が少なかった時代にどうやってそんなに多くの子ども達を育てることができたのか、知りたいと思いました。正修先生のお話をうかがっていると、修学先生は時代に対して真逆の考えを持っていたのではないかと感じました。体罰が多かった時代に「ほめて伸ばす」という教育をすることや、「障がいを持った人にも仕事をさせるべき」という考えを持っていらっしゃいました。今では「あたりまえ」とされていることを、あたりまえではなかった時代に先生は主張されていました。こういう人達が世界を変えてきたのだと感じました。私は将来、看護師になりたいので、温かい心や人を思う気持ちを自分の中に育てていきたいと思います。

自分の生き方を貫く

渡邊　ゆず

修学先生は学園を愛し、その学園で亡くなった。そして、そのことが周りの人々から「本望だったのでは」と言われるほど、自分自身の創った学園を先生は愛されました。現代では少しずつ受け入れられている「個性」というものを、昔から先生は受け入れて、それぞれの子どもの人格を尊重されました。いわば「革命」のようなことを、周りの意見に流されず、貫いた人であったと思います。人の意見に流されてしまいがちな私にとっては、なにより尊敬に値するところです。本当の生きがいというのは自分のやりたいこと、思ったことを好きなだけ、自分のやり方で貫くことだと思います。

「心を込めて」働く

鈴木　瑠音奈

修学先生は自ら設立した高校やそこで毎日楽しく学校生活を送っている生徒達が大好きだった。そんな大好きな場所で先生がお亡くなりになったことには大変驚いた。先生は、知的障がい者の施設を運営されていた時に「どんな人でも心を込めて仕事をすればその姿は美しい」とおっしゃったとのこと。その言葉から改

めて「働くことが人間の価値を高めること」の意味合いがわかりました。私もやがて社会に出て働くことになります。「心を込めて」をキーワードにして、働きたいと思います。

思いを受け継ぐ

渡邉　羽蘭

正修先生の講義から、本の中に書いてあることをさらに深く知ることができました。修学先生が、自分が苦しい生活をしてまで、他人の幸せに尽くす人であったことを再度認識することができました。ハンセン病がまだどのような病気だったのかわからなかった時代に、患者さんに対して先生は自分を犠牲にして支援をされました。親のいない子ども達、自閉症の子ども達に対しても「ほめる」ことを大事する教育を始めました。日本福祉大学を設立するときには、学生の学費を安くし、下宿も含めて提供するなど、次の世代のことを考えて行動されているのはすばらしいと思いました。この学園に学ぶ私達も、先生達も修学先生の生き方に学び、先生達も含め、自分達の行動や言葉遣いを正していきたいと思います。

自分の生き方を貫く

浅野　陽大

歴史の教科書には「ハンセン病があった」とだけしか記述はされていない。身を削って、ハンセン病患者を助けようとした修学先生や、その他多くの人々の頑張り、成果を詳しく教科書に載せて、これからの時代の子ども達にも知ってほしいと心から思った。戦争中に非道な取り調べを受け、自分のしている善行を理解してくれない人や冷たい心の持ち主がいることを先生は十分に知っていた。それでも人を助け、子どもを喜ばす心を忘れずに、自分より他人を尊重する姿勢で修学先生はご自分の人生を生き抜かれた。その生き方は本当にかっこいいと思った。

『日本の福祉を築いたお坊さん』読後の感想

取り組みながらやりがいを見つける

熊埜御堂　さくら

修学先生は人のために尽くして、この世を去りました。福祉活動を始める前に、先生が自分のしたいことがわからなくなったと聞き、驚きました。福祉の活動をずっとし続けてきた人だと思っていたからです。先生は本当に自分のしたいことを見つけました。先生は最初から自分に合う仕事を見つけたというより、やり始め、やりながら、どんどん目標を立てていき、それを一つひとつ達成しながら、福祉の仕事に興味を深め、やりがいを感じていったのだと思っています。人のためを思って行動をすることは誰にでもできることではありません。修学先生には他者を思う力が備わっているのだと思います。

自分を突き動かす原動力

杉浦　帆南

修学先生は「社会福祉事業」の拡大・発展に一生を捧げた人です。私は将来、公認心理士という「心の問題」を解決する職業に就きたいと思っています。しかし、「悩みを抱えた人達を笑顔にする」という目標があっても、一生という時間を捧げられる自信は今の私にはありません。

私も修学先生と同じように人生の意味を考えます。「なぜ、自分は生まれてきたのだろう」「なぜ人は生まれてくるのだろう」という二つの疑問について私は次のように考えました。人は誰しも使命を持って生まれてくると思うのですが、その使命に気づくことがで

きずに生涯を終える人もいると思います。でも、私は「その使命を見つけ、向き合って生きていくことこそが、人が生まれ、私達が生きる意味なのだ」という考えに至りました。

修学先生にとって、人がうらやむ世間的な成功やぜいたくな暮らしも心を満たすものではありませんでした。この気持ちに私も共感することができます。今も昔も現状に満足していると言える人は少ないと思います。例えば、何か欲しいものを手に入れたとしても、次にまた「あれも欲しい」という欲があふれてきます。その人間の欲を修学先生のように別の意味合いの原動力に変換することができたら素敵だと思います。

「慈悲・至誠・堪忍」の三つの大切さはわかりますが、今の社会に生きている私達の中で、この三つを心掛けている人は大変少ないのが現状です。「きれいごと」だと感ずる時もあります。しかし、いつか、この三徳を自然に実践できる人間に成長することができればいいと思います。

人生を探究する

角谷　恵大

若くして成功をおさめた修学先生。しかし、先生は次第に人生の意味を考えるようになる。「自分の幸せはなんだろう」「なぜ、生まれてきたのだろう」…人生の探究心に心を揺さぶられる。この修学先生の好奇心旺盛なところに僕は感激した。若くして成功しているのに、「自分のするべきことは何だろう」と探究する姿を自分に当てはめてみると、自分は怖くてできない。なぜなら、もう成功しているのに別のことをしたら、失敗する可能性・不安が出てくるからだ。わざわざハイリスク・ハイリターンのようなことはしたくない。しかし、同時に修学先生の考えにも一理あると思う面もある。「自分は何をすべきなのか」…人間であれば、日々の生活の中で必ず考えるからだ。それを追究するのか、しないのか、判断がむずかしいテーマだ。

この本の中には「徳を積む」という言葉が出てくる。この言葉を自分が聞いたのは初めてではない。母がい

つも言っている。「何か良いことをし続ければ、必ず良いことが返ってくる」と。この言葉からさらに連想する人がいる。メジャーリーガー・大谷翔平選手だ。大谷選手はごみを見つけるたびに拾っている。「運を拾う」…これはどういうことかというと、落ちているごみを運だと考え、拾えば拾うほど運が上がるという意味なのだ。ポイ捨ては運を捨てているだけの行為なのだ。この大谷選手の言葉を聞いた時、自分もごみを拾おうと思った。

高校生活では、自分なりのやり方で徳を積み、さまざまなことを探究し続けたいと思う。この本を読んで、そのことに対する興味が増した。徳を積むことの大切さも改めて実感することができ、これからの人生に役立てていこうと思う。一度きりの人生、自分のやりたいことをしたい。

心を耕す

井上　舞優

この本を読んで、一番印象に残っている言葉は「苦労をともにし、真心を持って導けば、必ず人の心を動かすことができる」という言葉です。これは修学先生が罪を犯した子ども達と農作業をする様子が描かれた場面に出てくる言葉です。

私にもこの場面と同じような出来事がありました。私の弟がテストに向けての勉強をせずに、遊んでばかりいた時のことです。母と私の姉は、弟にやる気を出させるために、毎日、弟に声をかけたり、いろいろな策を考えていました。その時に、私は「あの二人はどうして弟のために頑張れるのだろう」と思うとともに、弟がやる気を出すことに期待もしていませんでした。

修学先生は子ども達のために自分から率先して働く人だと本に書かれていましたが、私の母と姉も修学先生に似ています。修学先生は「人間も心の耕作を怠らなければ、必ず善い人になれる」と言っています。母と姉が弟のためになぜがんばれるのかがわからなかった私ですが、この修学先生の言葉から今はわかるようになりました。自分もまた、弟と同じように面倒くさがっていただけだとわかり、自分を情けなく思いまし

た。「苦労をともにし、真心を持って導けば、必ず人の心を動かす」のだ。今はこの言葉がとても好きです。修学先生は自分のためではなく、多くの人のために活動をする人でした。それらの活動の中で生まれた先生の教えは心に響くものばかりです。多くの人に広めていきたいと思います。

勇気と責任

デスフィー　海渡

この本を読んで、感じたこと、考えさせられたことは二つあります。

一つ目は自分が他の人や社会にどう接すればいいのかということです。他人が望んでいること、考えていることを想像して行動することはとてもむずかしいことです。ですが、修学先生は常に自分に何ができるのかを考えて行動しています。当時、理解がむずかしかったハンセン病患者を理解し、「同じ人間である」ことを主張しました。肉親からも縁を切られてしまうほど恐ろしい病気と思われていたものに対して、このような主張をするのはとても勇気がいることだったと思います。人のことを思う気持ちや優しさに加え、「勇気」を出して行動することの大切さを強く感じることができました。

二つ目は「慎重かつ迅速に行動に移す」ことの大切さです。僕はやろうと決めてから行動に移すのがとても遅く、自分自身はもちろん、他人に迷惑をかけてしまうことがたくさんあります。修学先生はいろいろなことにいち早くアイデアを出し、熱心に活動されていました。見習いたいと思うと同時に、そのためには、まず、自分自身の管理をしなければならないとも思っています。自分のことをきちんとやれない人間に協力してほしいと思う人はいません。僕は、自分自身のことにしっかりと取り組みながら、何がいけないのかを見つけ、改善を重ねながら、他の人のために協力し、貢献する力を身につけていきたいと思います。

「万人の福祉のために、真実と慈愛と献身を」―この言葉を心に留めて生活したいと思います。

相手の立場に立ってみる

加藤　誓

「不幸な人の手助けをする」―この修学先生の信念、これが一番印象に残っています。

修学先生は、障がいを持った子ども、病気の人など、社会の偏見や無理解、差別に苦しめられた人達を救ってきました。私は修学先生の優しさと強い意志、取り組みを継続し続ける努力があったからこそ、多くの人達を救えたのだと思います。苦しんでいる人達に手を差し伸べることは、本当にむずかしいことだと思いました。

私が中学三年生の時、同じ部活に障がいを持っている子がいました。どう接していいのかわからず、悩みました。しかし、接しているうちにその子の良いところに気づくことができました。その良さに周りの子が気づくことで、その子自身が成長していくこともわかりました。戸惑いも当然のことながらありますが、周りの人間が優しい気持ち、温かい目を持つことで、みんなが幸せになれることをこのことを通して実感しました。もし、自分が相手と同じ立場になったらとみんなが考えることで、差別などはなくなっていくのだろうと思います。

私も修学先生のように、たくさんの人を助け、たくさんの人が笑顔になれるように、まずは小さなことから挑戦をしていきたいと思っています。人はそれぞれにいろいろな事情を抱えて生きています。皆、大切な命です。それを傷つけるようなことがあってはならないと思います。助け合いの気持ちを忘れず、支えが必要な人に出会ったら、勇気を出して声をかけたり、行動を起こすことが大切だと気づかされました。今の私に何ができるのか、私でなければできない役割を果たせるよう、幸せの種をまいていきたいと思います。

幸せの種をまくこと

荒木　萌彩

一番心に残っている言葉は杉山辰子先生が口にした「幸せになりたければ、幸せの種をまくことが必要で

す。米も野菜も種をまかなければ収穫することはできません。幸せの種さえまけば、人は本当に幸せになれるのです」という言葉です。法華経の教えに基づいて、不幸な人々を助ける慈善活動に一生懸命に取り組み、貧しい人々や病気で苦しむ人々を救っていた杉山先生だからこそ、言える言葉だと私は思いました。「教えを実行し、するべきことをし、正しい生き方をしていれば、誰にでも幸せになる権利がある」と言っているようにも思えました。杉山先生は自分自身がつらい状況にあっても、幸せについて多くの人に語っています。これは本当にむずかしいことだと思います。

寝たきりだった老人が修学先生の手厚い取り組みにより、歩けるようになったことが書かれていたのも印象に残ったことの一つです。老人は「ありがたい、ありがたい」と涙を流しながら、繰り返し自分の思いを修学先生に伝えました。あきらめず、努力し続けることの大切さを実感しました。私も日常の生活でつらいことや嫌なことがあった時に、すぐに逃げたり、あきらめたりしたくなります。そういう時は杉山先生や修学先生の言葉や行動を思い出し、頑張ろうという気持ちを常に持ち続けることを意識して一日を過ごしていこうと思います。

今、新型コロナウイルスにより大変な状況の中に私達は置かれています。周りの人への気遣いや配慮が必要です。助け合い精神を忘れずに、自分ができることを頑張っていこうと改めて強く思いました。「慈悲・至誠・堪忍」の精神の柱を常に頭に入れて、「今、自分に何ができるのか。何をしなければならないのか」を考えながら生活をしていこうと思います。

信じるものを追い続ける

時枝　優匡

僕は「福祉」という言葉の意味を調べてみました。「福祉」とは「『しあわせ』や『ゆたかさ』を意味する言葉であり、すべての市民に最低限の幸福と社会的援助を提供するという理念を指す」と説明されていました。「衣食住」が満ちている現代社会にも、至る所に貧困は存在します。平凡に生活している僕らには想像する

ことすらできない出来事をテレビで観たりすることもあります。

修学先生のお話の中で特に感動したのが、結婚したばかりの奥さまと二人で、生の松原の療養所に行かれたことです。当時恐れられていた病気の一つであるハンセン病の療養所の運営を任されたのです。ハンセン病は当時、ライ病と呼ばれ、治る見込みのない病気とされ、「うつる」とも言われていた時代だけに、この取り組みに僕はびっくりしました。先生は本当に頑張りました。信仰心が真剣なものでなければ、とてもできないことだと思いました。先生は戦時中に弾圧をうけることもありました。自由な発言が通用しなかった時代です。弾圧の恐ろしさは今の自分達からは想像できるものではありません。食べるものもお金もない時代に大勢の子ども達の面倒を見続けたことにも驚かされます。現代においてもなかなかできないことだと思います。

苦労がないまま、大きくなってきた自分はこれから何をめざすべきなのか、まだ考えが定まりません。修学先生のように信じるものを追い続けたい、それができたら、本当にすばらしいだろうと思います。修学先生は法華経の教えを信じ、そのことが日常生活を楽しくし、将来に幸福をもたらし、人々に安心を与える知恵を生み出すものだと信じられました。その精神が、先生を三度もの身延山での苦行に挑み続けさせ、どんな不遇な子どもにも、障がいのある子どもにも思いやりを持って接していく行動力を生み出させたのです。修学先生は、一人ひとりを大切にし、幸福をめざしてお互いに助け合い、より良い生活ができるようにいつも心掛けられました。僕も自分の目標をしっかり持って、これからの人生を幸福で健康なものにしたいと思っています。

共感したこと

家入　愛華

人々の憂い、悲しみを自分のこととして受け止め、自らの喜びを他人に分かち与える優しさの心を表す「慈悲」。間違った行いや悪い心を避け、世のため人

のために自らを役立て、優しさをたゆみなく持ち続ける心を表す「至誠」。腹を立てず、恨みや怒りを捨て去り、理不尽な出来事からも逃げ出さず、他人を許す広い心を「堪忍」という。この3つの言葉を初めて聞いた時はどういう意味だろうと思ったのですが、言葉の意味を聞くと、なるほどと納得できます。この3つの言葉は、人に接していくうえで、とても大切なことだと思いました。

さらに、修学先生の子どもの育て方にも心惹かれるものがあります。子どもが悪いことをしても決して体罰を与えないところです。「体罰を与えて良くなった子どもは一人もいない」と修学先生は言います。また、子どもは必ずほめてから必要な話をする、音楽やスポーツは子どもの心を解きほぐす手助けになる、と先生が考えていらっしゃったことにも共感することができます。私も、自分が気持ちを落ち着かせたい時には音楽を聴きます。ストレスを発散させたい時にはテニスをします。何か一つのことに集中していると、心が落ち着き、平穏な心を取り戻すことができます。これは、子どもも大人も同じだと思います。

この本を読み、修学先生のすばらしい考え方にふれることができたことがよかったと思います。

学ぶことが行動力を生み出す

北村　はる

一番心に残ったのは、修学先生の「学ぶ力」のすばらしさです。杉山先生と出会い、自分の役割に気づくと幸せになれると知り、法華経を学びながらたくさんのことに取り組みました。不幸な人々を助けるために、繁盛していた商売もたたみ、本格的に杉山先生のもとで修学先生は学びます。学ぶことが行動力を生み出していくこと、その勇気ある行動を尊敬します。

杉山先生が亡くなられた場面も心に残っています。人生の師を失った寂しさ、悲しさは簡単に埋めることができなかったと想像できます。しかし、悲しんでばかりはいられないと前を向く修学先生の姿はとてもかっこいいと思いました。

修学先生は杉山先生から法華経の教えを単に理解す

るだけでなく、日々の生活に応用し、実行することの大切さを学んできました。杉山先生が修学先生に教えられたのは「慈悲・至誠・堪忍」の三徳です。「明日、死んでも後悔はない、というまで徳を積みなさい」という言葉を胸に刻みながら、功徳を積み、困っている人を助け、幸せに導く生き方ができたらと思いました。

心に響いた三つの言葉

中野　有香

『日本の福祉を築いたお坊さん』を読んで、心に響いた言葉は三つあります。

一つ目は「慈悲・至誠・堪忍」です。この三つの言葉を聞いた時、少しドキッとしました。理由は、自分ができている自信がなかったからです。自分のことで精いっぱいになって、周りへの気配りをふだん忘れてしまっていないか、改めて考えることができました。

二つ目は「自分は幸せなのだろうか」「自分は何のために生まれてきたのだろうか」という修学先生の言葉です。まだ明確な将来の夢がない私には、とても心に響く言葉でした。もうそろそろ子どものままではいられず、大人になっていく中で、自分がしたいことをまだ見つけられていない私は、自分が何をしたいのか、何をすべきなのかを考えなければなりません。ただ漠然と「人の役に立つ仕事がしたい」としか考えられていないのが現状です。このままではいけないと強く思いました。今の自分ができることを少しずつでも行動に移すことが、より自分がしたいことを明確に見つける方法であることを、この本は私に教えてくれました。今、目の前にある自分がすべきことをしていきたいと思いました。

三つ目は「心の持ちようで希望の光は見えてくる」という言葉です。このように考えるためには、自分の行動や考え方が正しいという自信を持つことが大切です。私もこれからもっと、自分が正しいと思ったことは貫ける、そんな心を持ち続けたいと思います。

幸せの種まき＝感謝と親切

たとえどのような悪因があろうとも、大難を小難とし、小難を無難とすることができるのが法音寺三徳の実践です

現世を楽しく、未来まで本当の幸せが続くように日々お題目を唱え、仏さまのみ教えを世に広めましょう。

大乗山　法音寺

編集後記

日蓮聖人御遺文『如説修行鈔』には、「万民一同に南無妙法蓮華経と唱え奉らば、吹く風枝を鳴らさず、雨壌を砕かず、代は義農の世となりて、今生には不祥の災難を払い…」とあります。

始祖・杉山辰子先生も「昼夜退転なくお題目を唱えれば、必ず災難が転じて福となります」と説かれる一方、「妙法を理解し、信ずる人を一人作ることの功徳がいかに大きいか」についてお示しくださいました。

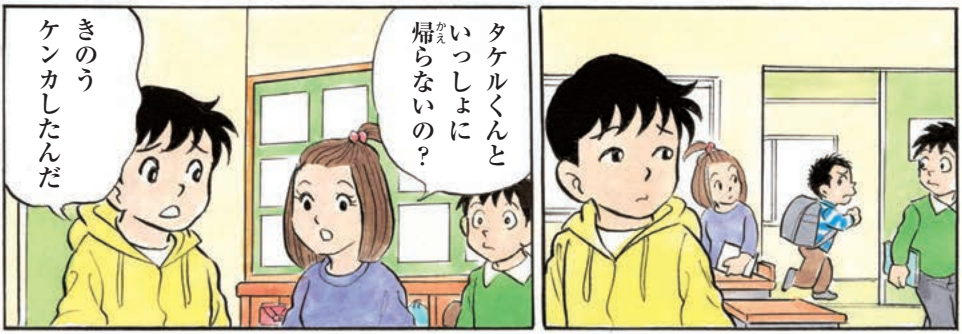
山首上人さまは、新型コロナウイルス第一波の際にいち早い対応として、お手紙と御守を全壇信徒に向けて送られ、〝僧俗一体となっての唱題と三徳実践〟を呼び掛けられました。そして連日、除災の祈りをご宝前にてお勤めくださっています。私達壇信徒も、こぞってご祈念させていただきたいと思います。

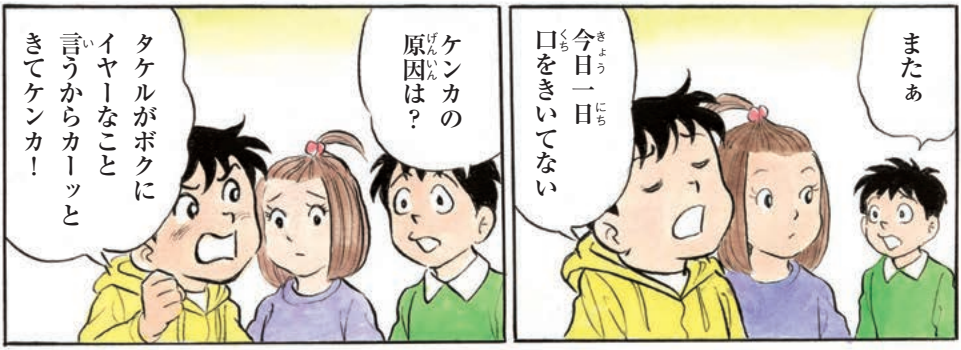
その一つの方法として、「お題目写経」（18頁参照）が始まります。一人でも多くの方にご参加をお勧めし、壇信徒の祈りのお題目を諸天にお届けし、一日も早い災禍終息を祈りましょう。山首上人さまのお心を、我が心とする精進をお誓いしましょう。

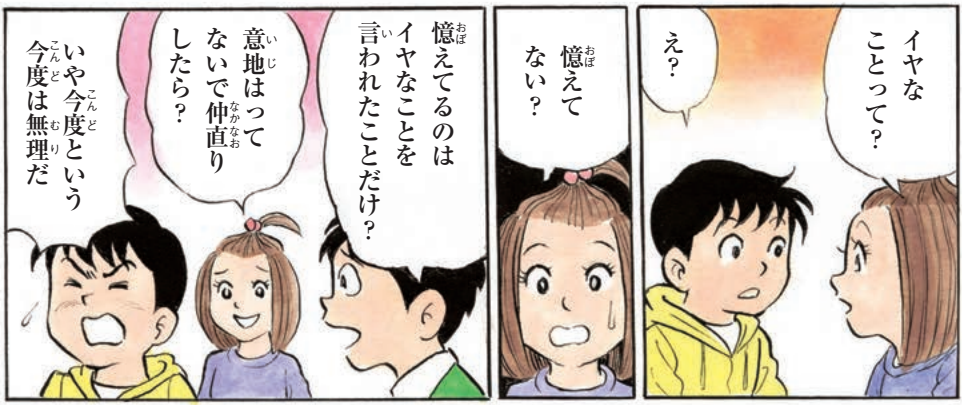
ひまわり #94

友達と虫歯

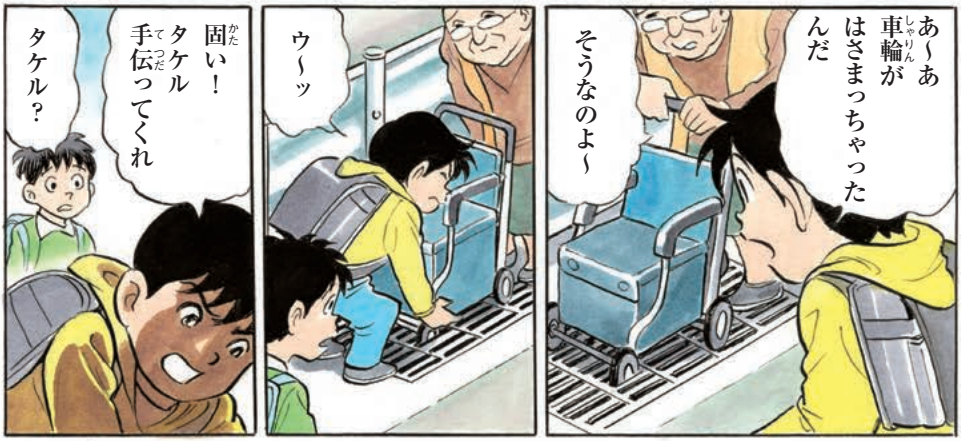
竹中 淳

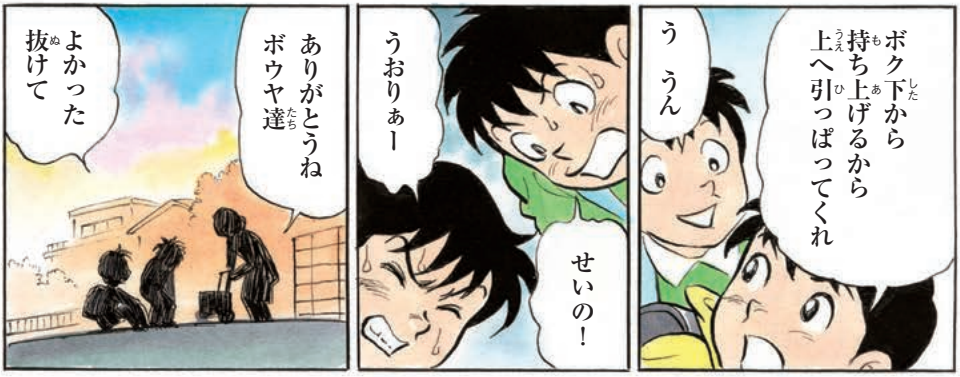






運動公園
！
運動公園
蓮
今から5年生と
野球するんだ
ピッチャーやって
くれない？
うん
いいよ
あれ？
タケルは？
いないよ
今日は…
なんだ
いないのかぁ
じゃあ
いいよ
悪いな
蓮とタケルの
バッテリーじゃ
なきゃな
じゃあね
バーイ
おばあさん
どうしたの？


あ～あ 車輪が はさまっちゃったんだ
そうなのよ～
ウ～ッ
固い！ タケル 手伝ってくれ
タケル？


ボク下から 持ち上げるから 上へ引っぱってくれ
うん うん
せいの！
うおりぁー
ありがとうね ボウヤ達
よかった 抜けて

蓮くん！
なに？
さっきボクを タケルと間違えたね
蓮くんの そばには いつも タケルがいるから だろ？
早く仲直り したらどう？
聞いてる？
…
さっき 歯を くいしばったら ピリッと きた

どうしたの？
なんだか歯がシクシクするんだ
そりゃ虫歯よ
明日　歯医者さん行きなさい
歯医者だけはイヤだ寝たら治るよ
絶対行かないよ！
ひどくなる前に行った方がいいって歯は大切なんだから
大丈夫だって…
チ！
チチッ
い痛い…
痛いよぉ～
フフフよかったねぇ
ばあちゃん！こんな時になんてこと言うんだよ…イテテ
歯の大切さがよーくわかっただろ

4-3
ポーポー
歯医者さんへ行くわよ
私が連れて行くわ
ウウッ…
ひろみちゃん蓮は？休み？
いっしょに登校したんだろ？
蓮くんいなくて寂しいんでしょ
そんなことあるもんか静かでせいせいするよ
歯医者さんへ行ってから来るって心配した？
しねぇよちょっと聞いてみただけ！

終ったよ どう？
うわぁ もう ちっとも 痛くない！
こんなことなら もっと早く 来るんだった
歯は大切にしなきゃ いけないよ
食べたあとは必ず 歯をみがいて 歯を清潔にね
虫歯を 放っておくと ドンドン 悪くなって
カッチ カチッ
最悪 歯を 抜くことに なるんだ 失った歯は 二度とはえて こないからね
失ってはじめて その大切さが わかるんだよ ねぇ おばあちゃん！
カチャ
ええ
おだいじに！
森歯科医院

タケルはいつもボクといっしょで友達であることがあたりまえに思ってた

あまりにも身近にいるからその大切さを忘れていたんだ

なんだよ〜

あ

歯医者行ってたんだって

虫歯が痛くて…

これからはボクタケルのこと歯のように大切にするよ

オレは歯といっしょか？

どっちも大切だよ

備品室

カーッときて言いすぎたことあやまるよ　ゴメン

オレもだ悪かったな

運動公園

今日は二人そろってんじゃん今日の試合のバッテリー頼むよ

おう！オレ達にまかせろ

息ピッタリのところ見せてやるか！

おしまい

法音寺物語

社会福祉という言葉がなかった時代…
人々を本当の幸せにする仏教の精神で
社会的弱者を救済する人達がいました。

貧困にあえぐ人達に食料や医療を施し、
差別を受けたハンセン病を患った人々に
寄り添い、様々な事情で親をなくした
子ども達を養育し、障がいを持つ人々に
生きる希望を与えてきました。

お寺になったのは戦後（昭和22年）のこと。
初代住職・鈴木修学上人は、福祉施設を
運営する中で、本当に人々を救済するには
“専門的知識を身につけた人材が必要”と考え、
日本初となる社会福祉教育専門の4年制大学・
日本福祉大学を開設しました。

その後、“仏さまの教えを実行し、困っている人達を
救済しよう”という理念に共鳴する人達が各地に
増え、全国に40の支院・布教所が設置されました。
多くの心ある人達の善意に支えられて、現在では、
高齢・障がい・児童の19福祉施設が運営され、
大学では多くの学生が社会福祉を学んでいます。

知恩報恩

「ありがとう」と言う私から
「ありがとう」と言われる私に

写真・法音寺大本堂
《山首上人の大荒行御成満奉告法要の砌》

日蓮宗大乗山 法音寺

〒466-0832 名古屋市昭和区駒方町3-3 TEL.052-831-7135
https://www.houonji.com FAX.052-831-9801

講話日

毎月7日・17日・27日
午後1時30分

ホームページにて月刊法音を掲載しています

SNSでつながる法音寺

法音寺公式
facebookで
毎朝7時
『一日一言』
配信中!!

こちらのQRコードからご覧いただけます。

毎週火曜日
法音寺メールマガジン
配信中!!

山首上人のみ教えや毎月の予定、人にやさしく生きていくためのコツなどを配信します。

こちらのQRコードからメールマガジン登録フォームをご覧いただけます。

YouTubeにて
法音寺チャンネル
開設中!!
https://www.youtube.com/user/houonjimovie

こちらのQRコードから法音寺紹介動画をご覧いただけます。

詳しくはホームページ、またはYouTubeサイトで 法音寺 検索

法音寺の社会福祉・教育事業

徳を昭(あき)らかにし、徳を以って世間を照らす

社会福祉法人 昭 徳 会

- 児童養護施設
- 障がい者支援施設
- 障がい福祉サービス事業
- 軽費老人ホーム
- 軽費老人ホーム(特定施設入居者生活介護事業)
- 自立援助ホーム
- 障がい児入所施設
- 特別養護老人ホーム
- 養護老人ホーム
- 保 育 所

法人本部
〒466-0832 愛知県名古屋市昭和区駒方町4-10
TEL(052)831-5171
http://www.syoutokukai.or.jp

我が如く等しくして異なること無からしめんと欲す

学校法人 日本福祉大学

- 日本福祉大学大学院
- 日本福祉大学
- 日本福祉大学中央福祉専門学校
- 日本福祉大学付属高等学校

法人本部
〒470-3295
愛知県知多郡美浜町奥田会下前35-6
TEL(0569)87-2211
https://www.n-fukushi.ac.jp

法音・令和2年11月号・No.613・令和2年11月1日発行
発行所・日蓮宗法音寺／制作・法音寺広報委員会
非売品／印刷・(株)一誠社